

## 第1回江府町公共施設あり方検討委員会 会議録

日時 令和元年6月19日  
午後6時～8時10分  
場所 江府町役場2階 大会議室

午後6時開会

### ○白石町長あいさつ

- ・町の財政状況等を鑑みるに、公共施設の総床面積を30年間で3割削減する必要がある。
- ・役場庁舎の移転を控えており、この機会に公共施設全体の見直しを行いたい。
- ・年代ごと、男女別に住民を集めた会議は今回が初。まず現状説明と行政の案をお示しして、意見を交わしていただきたい。

設置要綱に基づき、委員の中から一名、委員長を選任。

### ○本会議の趣旨の説明

- ・町の公共施設のうち、主に建物について、どうしたらいいのかを議論いただく（道路、橋りょう、上下水道等の社会的インフラは除く）。
- ・方針、あり方に関する事項を議論し、最終的に委員会として町長に答申する。
- ・委員会は原則公開。

(委員) 委員会の公開に関するルールは？

(事務局) 議事録はまとめたものをHP等で公開する。今回の会議については周知していないが、今後はHP等で開催についても案内する。また、会議の資料はオープンとしたい。

(委員) 委員会設置要綱の（定義）にある「小学校および中学校の教育施設」の有効活用とはどういう意味か？

(局) 旧小学校、旧給食センターなど学校施設を開放しているところもあり、そういう施設は議論の対象となる。

(委員) 各公共施設について具体的に聞かなければ議論できないのでは？

(局) すべての施設について検討していただくことはできないので、今回は全体の概要について説明し、次回から対象施設を絞った形で議論いただきたい。

### ○江府町公共施設等総合管理計画についての説明

- ・人口推計、財政状況について
- ・公共施設の現状について 住民一人当たりの延べ床面積、延べ床面積の割合
- ・今後の更新費用の見通し 大規模改修が30年、建替えが60年周期で行われる。
- ・インフラを除いた公共施設の今後40年間の更新費用総額は約200億円

- ・インフラ施設の更新費用は、年間 5 億円水準
- ・本総合計画は、各「個別施設計画」の上位計画として位置づけられる。
- ・公共施設マネジメントの実施方針としては 5 つの取り組み方針があり、①継続、②集約化、③複合化、④転用、⑤廃止 がある。これら 5 つの方針が、本会議の肝となる。
- ・町長のあいさつにもあったとおり、総延床面積を 30 年間で 3 割以上縮減することが計画の目標。
- ・隣接市町との協議、住民と行政の相互理解等について、今後の推進に努めてゆきたい。

(町長) 財政には限りがあるので、町全体がひとつの家族だと思って、どういうものをどういうふうに残して使ってゆくのがよいか、という観点から議論をしていただきたい。

#### ○公共施設一覧の説明 各施設の名前、場所、現況について

- ・「その他」区分の施設のものうち、旧小学校や分校など、利活用されていない遊休施設がある。
- ・個別の施設について議論する際には、写真入りの詳細な資料を準備したい。

(委員) 施設の現物を見る必要があるのでは？

(委員) まずは議論して絞ってから確認すべきでは？

(委員) 施設が膨大なので、議論するうえである程度テーマを絞ってほしい。また、一覧表だけでは実態や場所がわからない。

(局) その他の施設、役場本庁舎、旧学校施設といったものにフォーカスしたいと考えている。

(町長) 大雑把にいうと、次の 2 点に絞って議論いただきたい。まず 1 点として、新庁舎が建つと、既存の施設が空くのでそれについて。

もう 1 点は、旧小学校等についても併せて。以前にも廃止・活用などの議論がされたが、今回改めて議論していただきたい。

また、保育園の場所についても、すぐには変えられないが変えてほしいという声もある。他の施設と絡めて、長いスパンで変えていければと考えている。

(委員) 現在の総床面積の 3 割減という数値が出ているが、この根拠は？ なぜ 3 割なのか？

(町長) あまり数値にとらわれず、具体的な機能について議論した方がわかりやすい。

(局) 江府町との類似団体の平均との比較や、町の予算規模と比べてみても大きい。そうした事情を考えた目標が 3 割減。必ずしもこの委員会がその目標を達成するための答申をたてなければならないというものではない。

(委員) 施設毎の維持管理費に関する資料も必要では？

(局) 今後、個別の施設を議論する際に、現在の使用状況、今までの回収状況など詳細を含めた資料を提示したい。

(委員) 使わないもの、使うもの、というカテゴリーわけが必要なのでは？

- (局) 計画の中にもあった5つの方針をもとに検討しつつ、方向性を決めていきたい。
- (町長) その際に決めていただきたいのは、同じ機能をもつ施設が複数あり、用途や機能が同じであれば集約する、違うなら差別化を図る、といった観点でも考えていただきたい。
- (委員) それを検討するならば各種団体の意見を聞くことも必要ではないか？
- (町長) 当然聞くことは必要であるし、統廃合するということになれば理解を得なければならない。また、特定の機能に特化させることで住み分けをするという選択肢もある。
- (委員) そのようなことまで勘案しながら議論すると混乱するので、まずは事務的に「使う・使わない」を仕分けながら会の意見をまとめるのがよいのでは？ 各施設利用者との調整も本委員会で行うのか？
- (委員) この委員会では町長に対して「この施設は廃止したいがどうか」と答申することが目的なので、しがらみを考えずに決めるべきではないか。
- (局) 今後のまちづくりにもかかわるものになるので、利活用・転用についても具体的な意見があれば提案いただくのは差支えない。
- (委員) 活用の方法等については、いまの段階で考えるべきことではないのでは？ あくまで方針を決める会議であるので、ある程度は事務的に仕訳するのが望ましいのではないかと？
- (委員) しかし、年代、男女別で集められた委員それぞれの立場で考えるものがあるはずなので、何が欲しいか、というところから逆算して考えたほうが的を絞れるのではないかと。
- (委員) 空き家バンクというものがあるが、遊休施設バンクのようなものを設けるのも一つの手ではないか。お店をするような場所とかを紹介できるような。
- (委員) 廃止するかどうかを検討するだけでなく、利活用の内容についても議論に含める、という話でよいか。となれば、施設の維持管理コストや管理者の選定をはじめとした様々な事情を考慮しなければならなくなる。
- (委員) 議論の幅を広げすぎると收拾がつかなくなる。
- (町長) 「これがほしい」という話になったとき、「自らがやる」というスタンスではなく「じゃあ町がやってよ」となるのは困る。財政負担を減らそうというのが目的なので。また、絶対に必要な施設について、「みんなが使いやすくなるにはどうすればよいか」という意見は大歓迎。
- (委員) 方針を「廃止する」と定めれば、それは施設を取り壊すということか？
- (局) その方向で話を進めるということになる。
- (委員) 壊すにもお金がかかると思うが、それは計画には含まれていない？
- (局) 含まれていない。
- (委員) 各施設について、維持管理費がどれほどかかっているのかもわかる資料がいると思う。
- (局) それも含めた資料を次回は提示したい。H26年度に町職員の検討委員会で作成した答申が

あるが、これをもとにした叩き台を事務局で作成し、みなさんに議論いただくこととした  
い。

(委員) 実際に議論する対象の施設を見て回るような機会もいるのでは？

(局) その希望があれば、外観、内観を確認するためにいくつかの施設を対象にツアーを行う。  
また、役場各課の、現状の施設に対する意向を取りまとめたものも併せて提供したい。

#### 今後のスケジュール

- |           |       |                   |
|-----------|-------|-------------------|
| 7月14日(日)  | 午前9時～ | 対象施設を回るツアー(希望者のみ) |
| 7月24日(水)  | 午後6時～ | 第2回 検討委員会         |
| 9月11日(水)  | 午後6時～ | 第3回 検討委員会         |
| 10月16日(水) | 午後6時～ | 第4回 検討委員会         |